



CONTENTS

- * 連携型共同研究助成募集
- * カモミール月曆
- * 開催イベント延期のお知らせ
- * 意識啓発セミナー
- * 社会活動演習
- * 保育園たより



文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

連携型共同研究助成募集

本制度は、平成 27 年度に採択された科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」（代表機関：岐阜大学）の一環として、同事業の共同実施機関（岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アピ株式会社）および岐阜県内の女性研究者の研究力向上を図り、研究者同士の交流・地域への定着、さらには上位職登用につながるような「地域循環型研究者育成」をめざして実施するものです。

この研究助成制度では、すでに実用化段階（特許、企業による製品・商品化、成果の出版等）になっている研究に対して、必要に応じてその実用化までの研究費用を支援するものです。共同研究の成果がある程度出ていて、その実用化（特許、企業による製品・商品化、成果の出版等）にいたる段階が具体的に示されている場合に限り、その研究費の全額・あるいは一部を支援します。

申請受付期間： 2020年3月2日（月）～4月2日（木）午前10時必着
 助成金額： 1件あたり 20万円～80万円程度

申請者要件

- ・ 岐阜大学に所属する女性研究者（研究分野を問わない。特任教員・医員を含み、学生・院生・研究員である者を除く。）
- ・ 共同研究者に共同実施機関（岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社）に所属する女性研究者が1名以上含まれていること。別途、男性研究者も参加可能。共同研究者には、岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社以外にも、他大学・企業との共同研究も歓迎する。
- ・ 募集および審査は4機関それぞれにおいて行うが、他の3機関のいずれかの共同研究者として参加する者は、本学の共同研究には申請できない。
- ・ 他の研究支援・外部資金（科研費）等との重複申請は認められるが、この研究助成でどの部分を負担するのかを明確にすること。

ご応募を検討される方は、男女共同参画推進室WEB <https://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/news/518.html> で募集要項をご確認の上、申請書をご提出ください。申請書は上記WEBからダウンロードできます。（学内限定）

カモミール月暦 (室長からのメッセージ)

副学長(多様性人材活力推進担当) 林 正子

令和元年度 第2回「清流の国ぎふ女性の活躍推進会議 検討委員会合同会議」

2020年2月12日(水)、岐阜県 男女共同参画・女性の活躍支援センター(OKBふれあい会館)にて、岐阜県子ども・女性局が主催する「清流の国ぎふ女性の活躍推進会議 検討委員会合同会議」が開催されました。「M字カーブ底上げ検討委員会」「女性管理職登用検討委員会」「女性の活躍総合支援体制検討委員会」の3検討委員会合同の会議で、昨年6月5日(水)に開催された前回の議事の一部を、「かもみーる通信」108号(2019年6月)でご報告しています。今回の合同会議では、

- 「岐阜県女性活躍推進調査」の結果
- 岐阜県の女性の活躍推進に係る動向
- 「清流の国ぎふ女性の活躍推進計画」(第二次)策定に向けて

以上の主な議題について、岐阜県の企業、労働組合総連合会、NPO法人、岐阜労働局などに所属する委員メンバー19名によって意見交換がおこなわれました。紙幅の都合で議事内容のわずか一部しかご紹介することができませんが、岐阜大学構成員の皆さんやご関係の方々に、居住地ないしは勤務地である岐阜県の状況について情報を共有していただき、職場やご家庭で何らかのご参考にしていただけることを願っています。

「岐阜県女性活躍推進調査」は、2019年9月、岐阜県内2,000社とその女性従業員2,000人を対象にアンケート方式でおこなわれた調査(有効回答率 企業33.4%、女性従業員:33.6%)で、報告書の全文については、次のURLでご覧いただけます。 <https://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kekkon/jyoseikatuyaku/>

- ▶ 女性の活躍を推進することについて必要と回答した企業は89.8%、とくに300人以上の企業では95.2%と高くなっており、前回(2015年)調査結果と比べ、意識改革が各段に進んだことがうかがえます。
- ▶ 取り組みの効果としては、1. 女性の労働意欲の向上 2. 組織・職場の活性化 3. 女性の離職率の低下 が挙げられています。
- ▶ 女性の管理職登用への考え方としては、「積極的に登用したい」が37.8%、「わからない」が34.5%、「そういった考えはない」が19.0%の順となっており、企業側の一層の意識改革が必要です。
- ▶ 女性の管理職登用が進まない理由として、「家庭との両立が難しそうだと思う女性が多い」が43.9%と高く、次いで「本人の昇進意欲がない」が40.8%、「必要な知識や経験を有する女性がいらない」が22.6%の順となっています。
- ▶ 女性従業員が「出産後、離職せずに働きつづけるために必要なこと」として挙げたのが、1. 「保育所や学童保育など、子どもを預けられる環境の整備」が82.3% 2. 「女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革」が61.3% 3. 「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」が48.5%の順となっています。
- ▶ 女性従業員の意識では、管理職に「どちらかといえばなりたくない」「なりたくない」が約6割にのぼり、女性のさらなる意識改革の必要性がうかがえます。
- ▶ 女性従業員が求めるキャリアアップのための支援では、「信頼できるメンター(相談相手、指導者)の存在」の割合が約5割と高い一方で、「実施している」ないしは「実施を検討している」企業が約2割にとどまっていることも浮き彫りになりました。

以上のような調査結果(一部)をふまえ、「清流の国ぎふ女性の活躍推進計画」(第二次)策定に向けて、次のように論点整理がなされました。

1. 従業員規模が小さい企業のニーズ(一般事業主行動計画の策定の支援/女性の活躍に係る環境整備への補助などの支援/女性の就業者が少ない分野への支援)を踏まえた施策の実行
2. 優秀な人材の確保・定着に成功している企業の好事例PRと共有
3. 女性の採用拡大・経営者の意識改革とともに、働き方改革による生産性の向上、ダイバーシティによる多様な人材の活用の促進
4. 製造業や建設業が大きな割合を占めることを受けての女性の職域拡大に係る取り組みの促進
5. 企業の職場風土改善や、仕事と育児・介護との両立支援に係る取り組みの促進
6. キャリアアップのための「信頼できるメンター(相談相手、指導者)」の育成・配置についての企業の取り組みの促進
7. ロールモデルの配置や女性のアイデアを活かした商品等の情報提供
8. 女性の意識(管理職に「どちらかといえばなりたくない」+「なりたくない」約6割)の改革
9. ライフイベントによりキャリアを断ち切ることなく、着実にキャリアアップができ、管理職に就く自信をつけられる仕組みづくり
10. 子育て環境の整備と家庭における男女共同参画

開催イベント延期のお知らせ

2月27日（木）に開催を予定していましたが「2019年度連携型共同研究成果報告会・研究者交流会」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、4月以降に延期となりました。

延期後の開催日程につきましては、決定後、男女共同参画推進室WEB <https://www.1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/> でお知らせいたします。

意識啓発セミナー

2月12日（水）、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」清流の国輝くギフジョ支援プロジェクト意識啓発セミナーがアピ株式会社（岐阜市）にて開催されました。

「私からの多様性活躍支援メッセージ～しなやかに、そしてたくましく～」と題したセミナーでは、岐阜大学医学系研究科皮膚病態学の清島真理子教授が、1）医療業界における男女共同参画事情、2）私の歩んだ道、3）皆さんへのメッセージの3部構成で講演しました。



はじめに、2018年に明るみになった医学部不正入試における女性差別について紹介したうえで、女性医師の割合は年々増加傾向にあるものの他の職業と同様、女性医師においても出産・育児を契機に家事・育児負担の重さからキャリア形成が困難になる傾向について指摘しました。そのうえで、この状況の改善に向けて「岐阜大学医学部附属病院 女性医師就労支援の会」が取り組んでいる活動についての紹介がありました。また、同会が実施したアンケート調査結果によると、保育所や学童といった保育環境の整備や柔軟な勤務体制に対する強い要望が寄せられており、医師特有の働き方である主治医制度や宿直勤務などが育児中の女性医師にとって大きな負担になること、この「巨大な壁」を乗り越えるための新たな仕組み作りの重要性などについて言及しました。

続いて、「私の歩んだ道」として、医師として診療・教育・研究に取り組みながら子どもを育てた経験を振り返り、子育てを理由に女性がキャリアを諦めることなく上手に続けるためのアドバイス（目標を持つ、工夫する、事前準備、優先順位の検討、周囲に対する配慮と感謝など）を紹介しました。加えて、家族や保育園、地域の人々、職場の同僚やベビーシッターなどの協力を得ることや同じ境遇の仲間（ママ友）との情報交換の重要性についても強調しました。

最後に、「皆さんへのメッセージ」として以下の4点 一目標と事前準備、協力体制、努力は千金、感謝と振り返り一 を挙げ、「いま努力した経験が明日のあなたを創る」との力強い言葉で講演を締めくくりました。

質疑応答の時間には、アピ株式会社の男性社員を中心に家庭および職場における育児・介護支援体制について多くの質問が寄せられるなど、充実した内容のセミナーとなりました。（落合絵美）

社会活動演習

～遊んで・作って・演奏をしよう！～

2月15日（土）、8年目（ファイナル）を迎えた、地域科学部1年生が企画する「地域の子育て支援」イベント(社会活動演習)が男女共同参画推進室の後援で開催され、8組25人（0歳～6歳までの子ども11人）と10人の学生が、ゲーム、オリジナル写真立てづくり、ダンスなどを満喫しました。

（地域科学部 近藤 真庸）



ボーリングゲームで
“ナイス・
ストライク！！”



3才児のユーゴくん。
大学生のお姉さんと一緒に
写真立てづくりに挑戦！



笑顔がいっぱい！
記念写真 DE “ハイ、ポーズ♡”

保育園たより



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 TEL：058-293-3397 FAX：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。